

2011 年 3 月 18 日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

大野郡白川村と包括的連携調印式

中部学院大学（学長 岡本 健）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐多恵子）は、岐阜県大野郡白川村（谷口 尚 村長）と連携協定を結ぶことになりました。

今回の協定の柱は、**▼地域の発展と住民生活に関する共同研究▼地域の生活文化と自然を生かした教育プログラムの開発▼村民に対する生涯学習機会の提供▼福祉を発展するための協力**などです。短期大学部においては 2008 年度より白川村で新入生研修を行っており、幼稚園や介護施設を訪問したり、村民と触れ合ったり、交流を深めてきました。

また、福祉、介護分野においては、本学はこれまでに飛騨地域の高山市、飛騨市、下呂市の 3 市社会福祉協議会と連携しており、今回の白川村との締結で**飛騨全域と本学の連携が成立し、飛騨地域が抱える共通した福祉・教育・介護の課題に、共同して取り組む体制が整います。**

記

■ 日時 2011（平成 23）年 3 月 25 日（金）午後 1 時から午後 1 時 30 分

■ 場所 野外博物館 合掌造り民家園（旧山下陽朗家住宅）
（大野郡白川村荻町 2 4 9 9 TEL：05769-6-1231 FAX：05769-6-1830）
http://www.shirakawago-minkaen.jp/?page_id=2
調印式は合掌造り家屋で、いろいろを囲みながら、和やかな雰囲気で行う予定です。

■ 日程 12：50 受付開始
13：00 開会（経過と趣旨説明）
13：10 連携協定の調印式
13：20 ごあいさつ
13：30 写真撮影 閉会

■ 出席者 中部学院大学 岡本 健 学長
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長
大野郡白川村 谷口 尚 村長 ほか

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学総合研究センター（担当：飯尾 センター室長） TEL：0575-24-2238

大野郡白川村 総務課（担当：吉實^{よしざね} 環境計画係長） TEL：05769-6-1231

白川村と中部学院大学・中部学院大学短期大学部との

連携協定について

□ 趣 旨

白川村は、皆さんご承知のように世界文化遺産に登録されています。その景観や建物が評価を受けただけではなく、それらを保存している住民の努力と地域の絆が、遺産に値するといわれます。

この伝統の力を活用して、今の若者を育てる教育プログラムができれば、世界遺産の新たな価値が生まれるのではないかと考えます。また、村民にとって若者や新しい文化を取り入れることで、時代との調和を図ることが出来るのではないかと考えます。

今回の協定は、本学の学生と村民の交流を目指すとともに、村の暮らしと福祉について共に考え、白川村がめざしている「日本で最も美しい村」づくりを推進するものです。

1. 地域の発展と住民生活に関する共同研究
2. 地域の生活文化と自然を生かした教育プログラムの開発
3. 村民に対する生涯学習機会の提供
4. 福祉を発展するための協力

□ 調印までの経過

2008年度から3年間にわたって、本学の社会福祉学科と幼児教育学科が白川村にて、新入生の入学時研修を行ってきました。その際、村内の高齢者や児童との交流をプログラムに入れて、白川村の伝統的や暮らしから、学生たちは貴重な学びを得ることができました。また、白川村と本学は、東海北陸自動車道を通じて一本の道路でつながっていることから、本学の教員の中には、山間地域の福祉を研究テーマとする者もいて、長年にわたって村内の暮らしを研究してきたことも、今回の連携へとつながっています。

これらの交流が、双方の理解と信頼関係に発展し、今回の連携協定に結びつきました。

□ 具体的な活動

1. 学生と村民との交流（村内の老人クラブ、ボランティア団体、じば工房体験、保育園児、高齢者施設利用者等と本学の学生）5月、6月
2. 村の福祉計画などへの提言、アドバイス
3. 村内の公民館活動等に講師の派遣
4. 災害時、イベント等における協力